

病院におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	1~2	病棟夜勤業務の際、病室を巡回していたところ、病室入口付近にある室温調整器のカバーに右肩を強打し負傷した。当時屋内には電気がついていなかったため暗く、室温調整器のカバーが見えにくかった。（以前にも同じ所で右肩を強打している。）	53	50~99
1	11~12	患者の入院受け入れ準備に従事中、同僚と共に2人で片付けられていたベッド（スチール製、幅110cm×長さ195cm）を倉庫から選び出そうとしていた際、倉庫出入り口の間口の幅が90cmしかなかった為、当該ベッドを斜めにして運び出そうとしたところ、腰部に急激に負荷がかかり負傷した。	43	300~499
1	10~11	病理検査室内で、机で記録をしたあと立ち上がって移動しようとした時、机の隣の棚につまずいて、左足を捻り転倒した。	43	100~299
3	8~9	水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとした際、腰に痛みがはしり痛めた。	32	50~99
3	17~18	5階病棟の廊下から詰所に入った際、他の職員が座っていたイスの脚に右足が引っかかり、前向きに転倒し、右手と右膝を強打した。	58	100~299
3	10~11	病室で患者の体温・血圧を測り終えて歩き出した際、ナースコールのコードに足が引っ掛かり転倒し、右膝を床に強打した。	64	300~499
3	11~12	食養科の調理室で、使用済みの食用油を再生処理後に再生した油をフライヤーに入れる為、コロが壊れていた油処理機を移動中、処理機の油が一杯だったので中	61	500~

		の油が跳ねて左腕にかかり、肘下から手首を火傷した。		999
5	10～ 11	病室にて、頭側に設置していた携帯用酸素ボンベを取り外し片付けるため病室から出ようとした時、ベッドのコードに足が引っ掛かり転倒した。その際に左膝を床に強く打ちつけ受傷した。	36	～ 499
5	15～ 16	業務中に床にボールペンを落としてしまい、拾い上げようとした際に手すりですりを強打した。	34	～ 9999
5	11～ 12	職員食堂内にて、他職員が職員食を職員食堂内の冷蔵庫近くでこぼした為、他職員と共に清掃している最中に、もう1人の他職員が冷蔵庫の扉を開けていることに気付かず、立ち上がった際に冷蔵庫の扉にて背中を強打した。	41	～ 299
6	15～ 16	研修先の施設内で、折りたたみテーブルを折りたたんだ状態で移動させる際、テーブルが倒れて、左足先を強打した。	38	～ 299
7	12～13	1階診察室入口のドア上部をイスに乗り清掃中、イスから落ち転倒したその際に、ドア部分に手をぶつけ床に強く手をついた。	59	～ 299
7	14～15	当院内2FOP室にて眼科手術終了後片づけをしている際に手術台下にコントローラーのコードが入り込んでしまったため、コードを取り出そうと思い手術台を持ち上げようとした際に想像以上に重く腰部からギクッと音がし、その直後痛みと共に動けなくなってしまった。（手術台イスの状態で、かどを少しだけ持ち上げようとした。）	52	～ 299
7	19～ 20	病院で勤務中、病室でベッドの位置を調整しているときに、ベッド頭部に掛けてあった酸素ボンベを外し、壁際の床に立てて置いた。位置調整を終了し、ボンベを取るため振り向いたとき、ボンベが左足親指に倒れてきた。	55	～ 999
7	11～ 12	入院患者に対して昼食の準備をするため、3階配膳室にて薬缶で湯を沸かし、ポットに湯を注ぎ入れようとして薬缶を持ち上げたところ、把手が外れ、中の熱湯が両足にかかった。	43	30～ 49

9	1~2	病棟の休憩室で、仮眠をし、トイレへ行こうと電気をつけたら、台所に蠅がいたので、椅子に登って取り、下りようとしたところ、滑って転倒した。その際、右腕、腰、くるぶしを打った。腫れがあり、冷やして様子を見て勤務終了後に受診した。	46	1000 ~ 9999
10	10~ 11	両手にトレイを持ち運んでいる時に、ガスコンロの種火着火用のゴムホースに右足が引っ掛かり転倒した。その際に左足を捻り負傷した。9月にガスコンロを新しく購入し設置した為、種火着火用のゴムホースが以前より長くなっていて足が引っ掛かってしまった。	70	100 ~ 299
10	10~ 11	乾燥した洗濯物を仕分けしようと足を一歩踏み出した時に、台の下にあるスノコに右足小指が当たり、痛みが生じた。その後、痛みと腫れが強くなってきた。骨折と診断された。	63	500 ~ 999
10	10~ 11	病棟空調機械室内に設置してある空調機上（床より約2.4mの高さ）にて降雨による雨降水の処理作業をしている時に足場が悪く体勢を崩し転落した。	62	500 ~ 999
10	21~ 22	当施設会議室内に於いて、施設で催す秋祭りの準備作業を行い、作業が終了し模造紙を棚の上に戻そうと椅子に乗ったところ、バランスを崩して椅子から落ち、その際、床に臀部を打ち負傷した。	43	100 ~ 299
10	15~ 16	職場（HCU）のフロアで。患者様の付けていたO2チューブ（O2ボンベと接続）に横を通りすぎようとした時に右足を引っかけて前方に転倒、その時にフロアで右足膝を殴打。	63	1000 ~ 9999
11	9~ 10	居室にて椅子に上がって天井の電気カバーを清掃中、バランスを崩し転倒した際に左手を強打した。	58	1~9
11	8~9	耳鼻咽喉科外来の3番診察室内で、吸引パックを交換するために持ち上げた際、腰を一瞬捻ってしまい受傷した。	39	1000 ~ 9999
	9~	病室にて入浴前の患者様の移乗時、ベッドの高さを上げようとしたところ、足元にオーバーテーブルがあるのに気付き、オーバーテーブルを動かそうと持ち上げ		500

11	10	た。その際、オーバーテーブルが滑り右足の上に落ちて来た。同日、整形外科にて受診した。翌日、整形外科を受診し、右母趾末節骨骨折・第2趾末節骨骨折・足部皮膚欠損創と診断された。	40	～ 999
12	9~10	看護助手2名で当直室のシーツ交換を行う時、壁に寄せてあったベットを人が入る位に開け、新しいシーツを取ろうとした時、ベットの脚に右足を引っ掛け、右斜め前にうつ伏せに倒れると同時に反射的に左膝が出て床に強く打ちつけ左膝蓋骨を骨折した。	62	～ 100 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html